

議会だより

定例会

令和3年第3回定例会は9月13日に招集され、提出された案件を審議し15日に閉会いたしました。

委員会報告

総務産業常任委員会

- 調査期日 6月9日
- 調査事項 国民健康保険事業及び保健事業について
- 調査結果 指摘事項なし
- 調査期日 7月16日
- 調査事項 橋梁及び河川改修工事等の施工状況について
- 調査結果 指摘事項なし
- 調査期日 8月2日
- 調査事項 ひまわりの里の開花状況及び運営状況について
- 調査結果 指摘事項なし

同意

- 教育委員会委員の任命について
- 11月3日任期満了のため任命に同意
- 三上 公晶 氏(再)
- 固定資産評価審査委員会委員の選任について
- 9月26日任期満了のため任命に同意
- 金山 智徳 氏(再)

原案可決

- 町長、副町長、教育長の給与に関する条例の一部改正について
- 北竜町手数料条例の一部改正について
- 北竜町過疎地域持続的発展市町村計画について
- 令和3年度北竜町一般会計補正予算(第4号)について
- 既定予算に158,854

認定

- 千円を追加し、予算総額を3,903,521千円とする補正予算
- 令和3年度北竜町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について
- 既定予算に340千円を追加し、予算総額を313,240千円とする補正予算
- 令和3年度北竜町立診療所事業特別会計補正予算(第2号)について
- 既定予算に1,854千円を追加し、予算総額を104,854千円とする補正予算
- 令和3年度北竜町介護保険特別会計補正予算(第2号)について
- 既定予算に6,108千円を追加し、予算総額を301,634千円とする補正予算
- 令和3年度北竜町特別養護老人ホーム事業特別会計補正予算(第2号)について
- 既定予算に9,495千円を追加し、予算総額を451,994千円とする補正予算
- 令和2年度北竜町一般会計外6会計(国保・診療所・後期高齢・介護・特老・集落排水)の歳入歳出決算認定と令和2年度北竜町簡易水道事業会計決算認定について
- 決算審査特別委員会(藤井雅仁委員長)を設置し、その審査を付託、休会中に審査を行い認定されました。

意見書提出

- 次の意見書を可決し、関係省庁に送付いたしました。
- コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書
- 国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書
- コロナ禍における農畜産物の消費拡大及び高温・干ばつによる農作物被害対策を求める意見書



一般質問

9月13日に開会された第3回定例会では、6名の議員から9件の一般質問がありました。



北島議員

籾ばら集出荷施設建設に於ける行政の対応について

北島議員

現在、きたそらち農協北竜支所では、米の「籾ばら集出荷施設」建設を検討中である。年内中に有無を決定する為、組合員からの意向調査や意見聴取を行っているが、約40億円という高額な建設費に加え、コロナ禍における米価下落等により、国や道の補助金、行政の支援なしには実現は難しい。

将来的に必要な不可欠な施設と考えるが、農協側より要請があった時、町の10か年総合計画に記載があることも踏まえ、行政としてどの様な支援を考えているのか。

佐野町長

町の総合計画では、農協農業者の総意による建設の要望があることを前提に、町が事業主体となり国庫補助・過疎債を活用した事業計画が盛り込まれているが、現在まで農協側からの具体的な内容の提示がなく、話し合いも出来ていない。今後、農協側から具体的な報告や要請があれば、十分協議していきたい。

北島議員

その際は、農業者にとって少しでも負担軽減となるような支援になる事を期待する。



小坂議員

町税等の収納率の向上に向けて

小坂議員

本町の税・使用料・利用料等の収納率は大変高く推移している。公平・公正の観点から、生活様式の多様化に対応し、請求書払い・キャッシュレス決済等、納めやすく利便性の高い納付方法を取り入れようか。考えを伺いたい。

佐野町長

キャッシュレス化は国を挙げて推進している施策である。令和7年6月までに4割程度

の普及を目指しており、新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染症予防対策として、オンライン決済を含む非接触によるキャッシュレス決済への関心が高まっている。

本町では、クレジットカード納付等を導入しても収納率の特段の向上が見込めない一方、その実施に多額の経費が必要であり、加えて窓口サービスや事務処理の効率化・簡素化につなげることは難しい

小坂議員

と判断し導入に至っていない。令和5年に向けて、国による地方税納税に活用できる全国統一QRコードによる電子納税推進が図られるようなので、情報収集し検討していく。

佐野町長

現状ではメリットがあまりないが、AIを中心とした行政が進んでいくため、情報収集し検討していく。



小坂議員

自治体SDGsの取り組みについて

小坂議員

国連サミットで採択された

国際目標として、17のゴールと169のターゲットが設定

されている。この取り組みは政府、団体、企業あるいは個人も加わり、インターネット等で紹介されている。本町の取り組み、リンクした活動が必要だと思うが、理事者の考えを伺いたい。

佐野町長

2015年「誰一人取り残

さない持続可能でよりよい社会実現を目指す世界共通の目標「SDGs」が採択された。発展途上国のみならず、全ての国が取り組む普遍的な目標とし2030年を達成年限として、取り組みが進められている。

本町としては、国際目標のゴールに対し、「北竜町総合計画」の施策等を組み合わせつつ、ひまわりの町北竜にふさわしい活動に取り組むため、令和6年以降の後期計画に反映できるように進めていきたい。

小坂議員

どの視点で取り組むかであり、住民が持続的に住み続けられるよう、どのように生活環境の向上を図るかであると思う。内閣府等で、全国での取り組みが紹介されている。参考にしながら北竜町のSDGsを組み立ててほしい。

佐野町長

町民には、内容が十分理解されていない面もあるので、広報等で周知していき、近いうちに北竜町版を策定したい。



藤井議員 新型コロナウイルス感染 拡大に伴う事業者の支援 について

藤井議員

昨年1月からの新型コロナウイルス感染症拡大は大きな被害をもたらし、国民の生活スタイルにまで大きな影響を与えた。昨年度、特に大きな被害を受けた事業者には国・道そして北竜町からも大きな支援を頂いたところである。現在も事業者・飲食店には時短営業や休業要請等が大きな痛手となっているが、行政として何か支援を考えているのか、また今後プレミアム商品券やイベントを支援する計画があるのか伺いたい。

佐野町長

町では昨年度、プレミアム商品券・地域振興券の発行、料飲店や商工会員等観光センター出店予定者への支援、料飲店組合へのポイント・イベント支援、国の持続化給付金の対象外となった事業所への支援を実施した。

今年度は地域振興券の発行、料飲店や観光センター出店予定者への支援、料飲店組合へのイベント支援を行っているが本定例会に補正予算として料飲店への追加支援並びに商工会員等への支援を計上している。

今後の感染状況や国の支援策等の情勢を注視し、プレミアム商品券の発行やイベント支援等必要な支援については商工会とも充分協議していきたい。



藤井議員 公共交通等(スクールバス・ ハイヤー・バス)について

藤井議員

現在バスでは沼田町に直接行くことが出来ず、また令和4年3月末に滝川市へ向かう路線である滝川北竜線の廃止計画がある。その中で高校生の通学の足として代替の車両運転を検討されているが、どのような計画となっているのか。また計画では生徒数がどのくらいまで変動しても継続可能なのか伺いたい。

また、隣の管内ではあるが、春にハイヤー・スクールバス事業を行っていた業者が撤退し、混乱があったようだ。当町についても町民の足として公共交通の確保は必要不可欠と考えるが、事業者が存続していく為の支援対策等を検討されているのか伺いたい。

佐野町長

町としては4月以降もこれまでと同様に通学利用者等の交通手段を確保することとし、「北竜町地域公共交通計画」に基づき碧水から雨竜町追分市街までを結ぶ車両として、最大24名まで乗降可能なマイクロバスの購入を予定している。

支援対策については現在住民混乗によるスクールバス運行並びに乗り合いタクシー運行を進めている。

来年3月をもってひまわり観光は閉業を予定していると伺っている。4月以降の雨竜町へのマイクロバス運行を含め、近隣市町のバス事業者並びに町内NPO法人等への委託を念頭に協議を進めており、今後は事業者が存続していける支援等も合わせて検討したい。



藤井議員

北竜町の観光について

藤井議員

この2年間、新型コロナウイルス感染症拡大によりひまわりの里のオープン等が出来ず、観光事業は大きな痛手を受けている。観光センターで営業される事業者、町内で飲食店を営業する事業者が力を蓄え、観光分野を活性化させていくには行政の素早い対応が必要と考える。総合計画の中で行われるとのことだが10年後の人口等を考えると早期対応・手当てが必要と思う。

また、展望台については現在在老朽化のため使用不可となっている。このままでは来年度は感染症が治まっても展望台が新築されないのではないかと懸念されるが、考えを伺いたい。

佐野町長

ひまわりの里は昨年度植栽を含めた全てを中止、今年度植栽はしたが全てのイベント中止と観光センター休館を余儀なくされた。今後不透明だが来年度以降も感染症対策を施した上での実施に変わりはしないものと考えている。

また老朽化から使用を中止した展望台については「ひまわりの里基本計画」で示されたものを基本とし、町民説明会等で出されたご意見等を基本設計に反映させ、令和5年度に建設する予定でいる。

来年度は展望台のない状態となるが、仮設の展望台や展望橋の設置等の代替策を検討し、社会情勢や財源手当てを考慮したうえで「ひまわりの基本計画」の早期実現に努めたい。



尾崎議員

永楽園の諸問題について

尾崎議員

転倒事故は昨年9月に発生。看護師の傲慢な対応と職務怠慢で1ヶ月余りの放置の末、安心して任せられないと現在自宅介護を余儀なくされている。ご家族は町の要である管理責任者からの誠意を感じられていない。

今年7月の職員の無免許運転については、道路交通法の免許停止処分中であった。懲罰を軽んじた行為に通報され逮捕となったが、町の報告では職場内の統制不能と私情を絡むもので、懲罰基準を難しくしていると感じられた。

解決への方向性と着地点に疑問を感じ、納得できる説明がない中で「町長・副町長の減給処分」で、片付けることを容認するものではない。

佐野町長

特別養護老人ホーム北竜町

永楽園において、昨年9月14日に利用者様が転倒され、10月22日受診まで骨折が判明出来ず、また、施設内で適切な対応を取ることができず、ご本人様はもとよりご家族様にも大変辛い思いをさせてしまったことを深くお詫び申し上げます。現在ご本人様並びにご家族様の介護負担軽減のため、短期入所サービスのご利用により支援させていただいている。

今回の事故並びに7月27日に発生した職員無免許運転現行犯逮捕の処分については、職員の懲戒処分等に関する基準に基づきそれぞれ発令したが、改めて全体の奉仕者としての秩序維持のため、現行基準の見直しや懲戒審査委員会への外部人材の登用などを検討協議していく。

町民の皆様のご信頼及び信用

尾崎議員

を著しく失墜させてしまったことを深く反省し、町長・副町長の減給で終わらせず、利用者様に健やかで快適に過ごしていただける施設運営のために、断固とした改善改革を進め、合わせて人材の確保にも努めてまいりたい。

佐野町長

今回の「減給処分」に於いては2つの事故事件が十分な説明がなくひとまとめに片付けられており、ご家族が町に望む対応と町からの対応に食い違いがある。

看護師の不始末と職員逮捕の件では、以前から判断の甘さに疑問を感じており何に對しての処分か経緯の説明が欲しい。

事故に対しては心底謝つてきているつもりである。現行犯逮捕についても懲戒処分という厳しい処分を下した。

尾崎議員

永楽園は町民が安心して任せられる施設であること、職員がそれぞれの持ち場で向上心を持って専念できる職場に整えられるよう、運営改善に



早急に取り組む具体的な説明をいただきたい。今まで永楽園職員側からの希望や訴えはなかったのか。

高橋副町長

何件か受け、解決している。

尾崎議員

曖昧にせず責任問題を明確

にしなければご家族は安心できない。
町民の声を聴き、町民に寄り添っていただきたい。



松永議員

今後の町政について

松永議員

今後の町政について、3点お聞かせ願いたい。

①北竜町の人口減少対策について。全国の過疎地域では人口減少対策として工業団地誘致等を行っているが、本町ではどの様な対策事業を行っているのか。

佐野町長

これまで本町では人口減少の課題に対し、子育て世帯を対象とした支援や移住定住推進支援等を数多く行い、一定の成果があったと捉えており、引き続きまちづくり計画に基づき行っていく。

また、工業団地や企業等の誘致は行っていないが、新規

就農者支援等を積極的に行い就労者人口増につなげたい。

松永議員

②ひまわりの里基本計画について。本年7月に開催した町民説明会での意見によって計画の変更等はあるのか。また、本年基本設計が行われる展望台のスケジュールはどの様になっているのか。

佐野町長

町民説明会では賛成意見がある一方、事業費や維持管理に関する懸念の声も多く寄せられた。また、ひまわりの里活性化協議会でも基本計画に対し意見を頂いている。10か年での整備計画であり、今後

も要請があれば町内会・各団体単位での説明会を開催し意見聴取を行っていききたい。
展望台の基本設計については9月1日付けで株式会社隈研吾建築都市設計事務所と契約を行っており、来年1月までに終了するが、その間、月2回設計事務所と協議を行い、細部の変更等を行う事としている。

松永議員

③北竜町過疎地域持続的発展市町村計画について。計画について町民からの意見聴取の場はあるのか。

佐野町長

この過疎計画は、町の総合計画に基づき作成し、過疎債を充当するための事業計画となっており、道と協議の上、事業内容の認可を受けるものである。町民からは8月25日から10日間ホームページにて意見聴取を行い、後日、ホームページにて回答する予定となっている。



小松議員

米価下落と今後の施策について

小松議員

先日、今年度の米の概算金が出るち米1俵あたり前年比2,000円前後下落すると報道された。コロナ禍による消費減が大きな要因である。今後北竜町の米に対してどの様な支援策が考えられるか。

また、明年度以降米の生産過剰を解消する為にさらなる転作の深堀が求められている。米から畑作物にシフトし米の価格を補てんし得る所得が求められる。北竜町農業再生協議会を中心に国の補助金に繋がる施策、誘導も必要と思うが考えを伺う。

佐野町長

今年度は米の「ナラシ対策」並びに「収入保険」が適用になることが確実視されており、本町の水稻作付者の約96%がどちらかの制度に加入しており標準収入額の最大9割までが補填されることにな

っている。また、空知町村会からも米価下落対策を講ずるよう国と道に働きかけを行っている。

次年度以降の更なる転作強化は避けて通れない情勢である。経営所得安定対策等の各種制度の周知、徹底を図ると共に農業者も畑作物を転作ではなく本作として意識するよう取り組みを共に進め、農業所得の確保に努めて参りたいと考えている。

活動報告

【10月】

5日：北海道町村議会議長会令和2年度決算監査
13日：空知町村議会議長会臨時役員会、空知町村議会議長

会第2回定期総会

15日：総務産業常任委員会、

全員協議会、まちづくり等調

査特別委員会

25日：例月出納検査（監査委

員）

29日：北海道町村議会公務災
害補償等組合決算監査

活動予定

【11月】

1日：北空知議会議長連絡協
議会総会

2日：北海道後期高齢者医療

広域連合議定会定例会

24～25日：空知町村議会議長

中央要望

26日：全国議長大会

29日：北海道町村議会議長会

理事会

30日：第2回中・北空知廃棄

物処理広域連合議会

中旬：総務産業常任委員会

下旬：例月出納検査（監査委

員）、財政援助団体に対する

監査（監査委員）、指定管理

者への監査（監査委員）



大きな波紋が広がったオ
リンピック開催、コロナ渦
の判断が問われた。

開催まで、そして期間中、
経済の発展・雇用拡大・観
光客による効果に期待した
が、コロナ感染拡大があり、
事業の廃業・破綻、失業者
の拡大、国民の行動制限等
があり、組織委員会で負担
できない1兆円を超える赤
字が国と東京都、両者の負
担になる。

負担率は分らないが、
負担が都民だけなら、一人
当たり十万円、国民全体な
ら一億円となる。きつと、
もつと膨れ上がっているの
だろう。

様々な種目で多くの素晴
らしいドラマが見られ、日
本は好成績を残した。自分
の年齢を考えると国内開催
で私が見た最後の夏のオリ
ンピックなのかなと思う。

日本が開催地で無ければ、
国内のコロナ対策の制限・
期間・時期等は変わったこ
とだろう。開催決定までの
経過を見ていた。よりによ
って、なんで日本が開催国
の時にと考えた。犠牲の上
に開催されたオリンピック
は若い人たちの自慢となる
のか。それとも、失敗と見
るのだろうか。

こんな大きな判断では無
いけれども、私達にも様々
な場面で判断する時がある。
自分だけにしか影響の無い
ものは、まだ良いが、判断
の難しさの一端を垣間見た
気がする。六十才になつて
も、まだまだ、人生勉強。

過去のオリンピックの開
催後には、経済発展や観光
客増加などの良い効果が出
ている。コロナの収束とオ
リンピック開催による効果
を祈念する。（藤井雅仁）

議員の賛否の公表（北竜町議会では予算議会における議員の賛否を公表することとしています）

令和3年第3回定例会（会期：9月13日～15日）

○：賛成 △：意見を付与して賛成 □：修正を求め賛成 ×：反対 -：議長の為賛否無し

| ▽議 案 件 名 | 中村 | 尾崎 | 北島 | 小松 | 小坂 | 松永 | 藤井 | 佐々木 |
|--------------------------------------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|-----|
| 教育委員会委員の任命について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |
| 固定資産評価審査委員会委員の選任について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |
| 公平委員会委員の選任について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |
| 町長、副町長、教育長の給与に関する条例の一部改正について | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |
| 北竜町手数料条例の一部改正について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |
| 北竜町過疎地域持続的発展市町村計画について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |
| 令和3年度北竜町一般会計補正予算（第4号）について | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |
| 令和3年度北竜町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |
| 令和3年度北竜町立診療所特別会計補正予算（第2号）について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |
| 令和3年度北竜町介護保険特別会計補正予算（第2号）について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |
| 令和3年度北竜町特別養護老人ホーム事業特別会計補正予算（第2号）について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |
| 本会議における質疑の件数 | 質疑 4件 | 質疑 0件 | 質疑 0件 | 質疑 0件 | 質疑 0件 | 質疑 0件 | 質疑 0件 | - |

決算審査特別委員会（9月13日～15日）

○：賛成 △：意見を付与して賛成 □：修正を求め賛成 ×：反対 -：委員長・監査委員の為賛否無し

| ▽委 員 会 付 託 案 件 | 中村 | 尾崎 | 北島 | 小松 | 小坂 | 松永 | 藤井 | 佐々木 |
|--------------------------------------------|----------|----------|----------|----------|----|-----------|----|----------|
| 令和2年度北竜町一般会計歳入歳出決算認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | - | ○ |
| 令和2年度北竜町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | - | ○ |
| 令和2年度北竜町立診療所事業特別会計歳入歳出決算認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | - | ○ |
| 令和2年度北竜町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | - | ○ |
| 令和2年度北竜町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | - | ○ |
| 令和2年度北竜町特別養護老人ホーム事業特別会計歳入歳出決算認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | - | ○ |
| 令和2年度北竜町農業集落排水事業及び個別排水処理事業特別会計歳入歳出決算認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | - | ○ |
| 令和2年度北竜町簡易水道事業会計決算認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | - | ○ |
| 決算委員会における質疑の件数 | 質疑 9件 | 質疑 3件 | 質疑 2件 | 質疑 1件 | - | 質疑 13件 | - | 質疑 4件 |

決算審査特別委員会における議員質疑（意見付与・修正を求めた質疑）

| 質疑内容 | 答弁内容 |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>・ふるさと応援基金について ふるさと応援寄付金の令和2年度末残高は608,712千円となっており、年々ふるさと納税の恩恵により増加を続け、財政調整基金485,386千円を超える残高となっている。 ふるさと納税については恒久的に継続する制度ではなく、制度の廃止も予測されることから、この財源に依存することなく、今後の行政運営に努められたい。</p> | <p>状況はしっかりと理解している。検討したい。</p> |
| <p>・特別養護老人ホーム事業について 特別養護老人ホーム事業について、平成24年度に141,361千円あった財政調整基金は、令和2年度末では1,056千円に減少し、一般会計繰入金は、財源不足及び公債費の財源として使われており、近年大きく増加している。 今後、施設の老朽化による大規模改修も将来的に見込まれ、財源の確保や施設の運営等に抜本的な見直しが必要と考える。 施設を支える職員も慢性的な人数不足が続いており、施設入所者やその家族が安心安全な環境で日常生活が送れるよう、管理指導の徹底に努められたい。</p> | <p>人件費増が要因でもある。（職員の年齢構成の高年齢化）いろいろな角度から検討をしたい。 町営でやることできめ細やかな対応ができると思う。 民間の力も必要、理解する。 職員の特別手当等を削減してきたが、民間より低い給与形態となってきている状況もあるので、近隣の状況も見ながら検討したい。</p> |